

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第4区分
【発行日】令和6年9月26日(2024.9.26)

【国際公開番号】WO2023/166544
【出願番号】特願2024-504032(P2024-504032)

【国際特許分類】

H 0 2 M 1/12(2006.01)

H 0 2 M 7/48(2007.01)

【F I】

H 0 2 M 1/12

H 0 2 M 7/48 M

10

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月16日(2024.7.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0019】

調整電圧V_dは注入波形生成器10a、10bの入力端子51a、51bに入力される。注入電圧生成器30は、調整電圧V_dに基づいて第一出力電圧V_{o1}を生成する第一の注入波形生成器10aと、調整電圧V_dに基づいて第二出力電圧V_{o2}を生成する第二の注入波形生成器10bと、を備えている。注入波形生成器10a、10bは、入力された調整電圧V_dに基づいて、帯域制限されかつ電圧値が増幅された電圧すなわち出力電圧V_{o1}、V_{o2}を出力端子52a、52bから出力する。注入波形生成器10aの出力端子52aから出力される出力電圧V_{o1}はトランス11の一次側巻線m1の一端に入力される。注入波形生成器10bの出力端子52bから出力される出力電圧V_{o2}はトランス11の一次側巻線m1の他端に入力される。出力電圧V_{o1}、出力電圧V_{o2}は、互いに同じ大きさで逆相の電圧である。すなわち、出力電圧V_{o1}、出力電圧V_{o2}は、互いに同じ大きさで逆極性の電圧である。トランス11の一次側巻線m1には出力電圧V_{o1}と出力電圧V_{o2}との差分、つまりはV_{o1}の2倍の大きさで同相すなわち同極性の電圧が印加される。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0067】

注入波形生成器10aの出力端子52aから出力される出力電圧V_{o1}は信号調整トランス71の一次側巻線m5の一端に入力される。注入波形生成器10bの出力端子52bから出力される出力電圧V_{o2}は信号調整トランス71の一次側巻線m5の他端に入力される。出力電圧V_{o1}、出力電圧V_{o2}は、互いに同じ大きさで逆相の電圧である。すなわち、出力電圧V_{o1}、出力電圧V_{o2}は、互いに同じ大きさで逆極性の電圧である。信号調整トランス71の一次側巻線m5には出力電圧V_{o1}と出力電圧V_{o2}との差分、つまりはV_{o1}の2倍の大きさで同相すなわち同極性の電圧である注入電圧V_{inj}が印加される。三相電力線5の各相に信号印加器72のコンデンサ73を介して補償電圧V_{com}がコモンモード電圧V_{ci}を抑制するように重畳される。なお、三相電力線5の各相に、信号印加器72のコンデンサ73を介してコモンモード電圧V_{ci}を抑制する電流が流

50

れる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0107

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0107】

実施の形態6の第二のノイズフィルタ50は、実施の形態5の第二のノイズフィルタ50と同様に、第二の注入波形生成器31bは第一の注入波形生成器31aの出力である V_{o1} が入力される。出力電圧 V_{o1} と同じ大きさで逆相の出力電圧 V_{o2} を出力するために、第二の注入波形生成器31bは入力信号をゲインが等倍で位相を 180° 回す回路を適用する。すなわち、第二の注入波形生成器31bのオペアンプ19のゲイン G_i は、第一の注入波形生成器31aのゲイン G_i が正の場合は -1 であり、第一の注入波形生成器31aのゲイン G_i が負の場合は 1 である。

10

20

30

40

50